

高倉健映画と

戦後日本

第1回 2020年2月16日(日) 午後2時~3時30分

戦後日本と共に歩いた健さん映画

映画の斜陽期に任侠映画で頭角を現した健さんは、その後、「幸福の黄色いハンカチ」で(純愛)、「駅STATION」で(過疎)という、戦後を代表する二大テーマに取り組みます。そこで戦後日本に向けて発せられたメッセージとはどのようなものであったのでしょうか。

第2回 2020年3月15日(日) 午後2時~3時30分

大作映画の顔となった健さん

「八甲田山」は健さん映画の代表作であると同時に、その後の健さん映画の歩みを予告する作品でもありました。これ以降大作への出演が相次ぎ、「鉄道員(ぽっぽや)」以降は内容がパターン化する結果ともなりました。そしてそれも戦後日本の歩みと深くかかわる変化であったのです。



講師 藤井淑禎

ふじい ひでただ

立教大学名誉教授。専門は、近代日本文学文化、戦後大衆文化、ミステリーなど。主著は、『小説の考古学へ』『清張 闘う作家』『清張ミステリーと昭和三十年代』『江戸川乱歩と大衆の二十世紀』(編著)『高度成長期に愛された本たち』『名作がくれた勇氣』『純愛の精神誌』『望郷歌謡曲考』『御三家歌謡映画の黄金時代』『漱石紀行文集』(編著)『90年代テレビドラマ講義』など。

戦後日本を代表する映画スターである高倉健(一九三二—二〇一四)の

足跡と主演映画の流れを追うことで、戦後日本を振り

返ります。錦之介・橋蔵らと比べて「遅れてきた

大スター」である健さんや健さん映画の歩

みには、戦後日本の軌跡が驚くほど

鮮やかに刻印されています。

【場 所】東武博物館ホール
東武スカイツリーライン 東向島駅下車
※詳しくは裏面をご覧ください。

【定 員】160名(応募多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募
(個別の応募はできません)

【主 催】東武博物館

参加費無料

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 ▶ 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、性別、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 ▶ 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。

上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

※一度に複数名のご応募はできません。
1回の応募で1名様のみご当選となります。

【宛 先】〒273-8567 千葉県船橋市本町7-1-1 東武友の会「向島文化サロン」T係

締 切 2020年1月15日(水) 必着 ※応募締切後、抽選のうえ当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。

【お問合せ】 東武友の会 TEL..047-425-7283 www.tobu-tomonokai.co.jp